

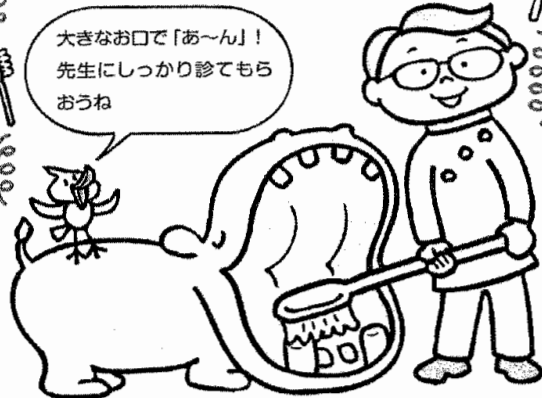
梅雨の季節になりました。温度・湿度ともに高くなり、また天気が変わりやすいこの時期は、もっとも体調を崩しやすい時期でもあります。  
過ごしやすい環境作りや毎日の子どもたちの様子の変化に配慮し、ご家庭とも連絡を密に取りながら、心も体も健やかに過ごせるようにしたいと思います。

## 歯科検診があります

6月30日(木) 9時から順に

当日の朝はしっかりと朝ごはんを食べ、きれいに歯を磨いてからの登園をお願いします。また、歯のことで心配なことがありましたらご相談ください

大きなお口で「あ〜ん」！  
先生にしっかり診てもらおうね



### 歯科検診後について

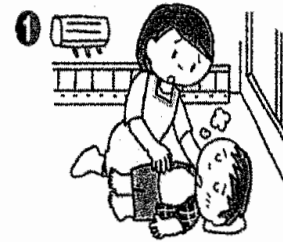
検診の結果は《けんこうのきろく》に記入し、《歯科検診結果のお知らせ》と合わせてお渡しします。むし歯がある場合は、近くの歯科医院に診て頂くようにしましょう。園での検診は、歯科医院で診て頂く明るさとの違いや口の開け方、検診時の姿勢の違い(横になって受ける検診ではない)から、多少誤差があるかもしれませんが、かかりつけ医との違いがある際は、園までお知らせください。

### 与薬について

基本的に園での与薬は行っておりません。やむを得ず薬を持参される場合は、与薬票・薬剤情報説明書・薬を一つの袋にまとめて、直接職員に手渡してください。  
粉薬の袋や水薬の容器にもフルネームで記名し、薬は粉薬・水薬ともに1回分のみを持参してください。  
よろしく願いいたします。

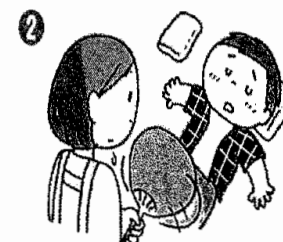
## 「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



### ① 涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に連れて行き、服のボタンやベルトを外す。



### ② 体を冷やす

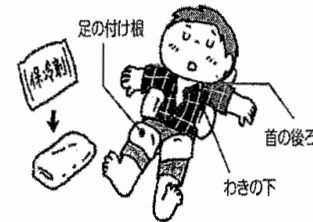
ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



### ③ 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用イオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- ❑ 冷やしたタオル
  - ❑ タオルに包んだ保冷剤
  - ❑ ポリ袋に入れた氷水
- などを挟んで冷やすと効果的



39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます

## 虫刺され

油断大敵!

蚊に刺されると、かゆくてつらいだけでなく、かきこわして傷口が化膿したり、「とびひ」になったりすることも。蚊に刺されたら、早めのケアが大切です。



### 石けんで洗いましょう

刺されたところを石けんで洗って、かゆみのもとを洗い流します。水で冷やしてかゆみも軽くなります。

### かゆみを和らげましょう

かゆがるときは、ぬらしたタオルや保冷剤で冷やしたり、かゆみ止めを塗ったりしてケアします。

### かゆみやはれがひどいときは皮膚科へ

刺されたところが強くはれたり、皮膚がじゅくじゅくしたりするときは、皮膚科を受診しましょう。

